

守谷市の英語教育・グローバル教育の具体的施策

「どこでも」 Anywhere

教室以外でも英語に触れることができる環境づくり

1校1ALTの配置（全19名） 【H12年度～】

”Good Morning”から”See You Tomorrow”まで

- 大規模小学校2校、中学校4校に、2名ずつのALTを配置しています。
- 英語ネイティブティチャーとの会話を通じて、英語力やコミュニケーション力を育みます。
- 異文化のALTとのコミュニケーションを通して、グローバルな視点を養います。
- 小学校のすべての英語の授業に、ALTが参加します。
- 学校生活、行事等に参加するALTと交流し、全体を通して英語に触れる機会を増やします。

オンライン英語交流学习 【小小連携、小中連携学習】

- 中学校区内の他の学校のALTへ自分の考えや気持ちを伝えます。
- 小学生同士、小学生と中学生が英語で発表したりやり取りしたりします。
- 休み時間に、ALTと他校の児童生徒が英語で交流します。

English Day, English Salon 等の設定

- 週に1日、English Dayを設定し、児童生徒も教員も1日英語で会話をします。
・朝の会や帰りの会を英語で実施。（中学校）・給食のメニューを英語で紹介。（小学校）
- 放課後にEnglish Salonを開設し、ALTとフリートークをする。（中学校）等

ALTによる動画配信

- 家庭でも英語に触れることができるよう、ALTによる動画を配信しています。
【動画例】・ALTの自己紹介 ・各校の教員や場所の紹介 ・アルファベットの学習
・授業の復習 ・教科書にはない便利な英語表現 等



「だれとでも」 With Anyone

学校以外でも英語に親しむことができる機会の提供

守谷ライオンズクラブ杯 イングリッシュ・フォーラム

英語で個性あふれる考えや気持ちを発信し合います。

小学校5年生、6年生の18名、中学校1年生、2年生の20名を対象に、2月中旬の土曜日の午前中に実施します。小学生がスピーチ、プレゼンテーション発表後、ALTと対話。中学生は、対話型プレゼンテーション、グループプレゼンテーション後、相手の学校と即興でやり取りをします。

イングリッシュ・キャンプ

グローバルな感覚を英語でみがきます。

小学校5年生から中学校1年生（約60名/回）を対象に、夏季休業中及び10月末頃の年2回実施予定。・「サバイバル・イングリッシュ」（英会話練習）やCLIL（内容言語統合型学習）クッキング、マンガ作成、実験 等、1日をALTと一緒に英語だけで過ごします。

ALTとあそぼう・話そう

19人のALTとコミュニケーションの楽しさを味わいます。

小学1・2年生と小学3・4年生を対象に、原則第1土曜日の午前中（各グループ 年間4回）身体を動かしながら、ALTとゲームや会話によるコミュニケーション活動を行います。

英語検定受検料補助事業 【R2年度 予算：3,330千円】

児童生徒の英語力と学習意欲の向上と本市の外国語教育に係る施策の成果検証の指標

守谷市に住所を有する小中学生を対象に、公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定（英検）の受検者に対し、予算の範囲内において、年1回受検料の半額を補助しています。

姉妹都市交流～カード交流・海外研修～、絵本読み聞かせ

マインブルク市（ドイツ連邦共和国・バイエルン州）グリーリー市（アメリカ合衆国・コロラド州）

カード交流（小学校）：小学校3・5年生を対象に、季節のあいさつや日本の紹介を行います。

青少年海外研修：市内中・高校生役10名を対象に、夏休み中約1週間ホームステイを行います。

守谷市中央図書館との連携：幼児とその保護者と小学校低学年児童を対象に、年に数回実施します。



守谷市の英検取得率（中学校卒業段階）			
	H29	H30	R01
全 国	22.0%	23.9%	25.1%
茨城県	25.9%	27.9%	29.4%
守谷市	46.7%	51.0%	55.5%



守谷の英語・グローバル教育
English and Global Education of MORIYA City



「いつでも」「どこでも」「だれとでも」
生きた英語に触れ、英語で楽しむ守谷の教育
Anytime Anywhere With Anyone
Grow and Transform Yourself through Real English.



守谷市教育委員会

〒302-0198 茨城県守谷市大柏950番地の1 電話：0297-45-1111（代表）
https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shisetsu/g_sisetu/gyousei/kyouiku/index.html

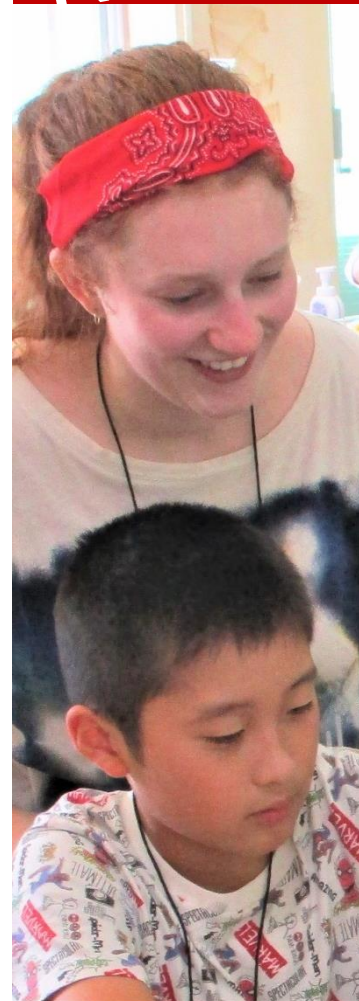


英語で発信し合える児童生徒の育成を目指して。

English and Global Education of MORIYA City

No.1

守谷市の英語教育・グローバル教育の具体的施策



「いつでも」 Anytime

小中学校9年間を通した英語教育カリキュラム

- 教育課程特例校（小学1年生から週1時間の英語の授業を実施）
- フォニックスやプロジェクト・アクティビティ（自己表現活動）の位置付け
- ALTと行う教員校内研修，外国語教育推進委員会の実施
- 英語ネイティブティーチャーによるハイブリッド（ALT・オンライン英会話）授業の導入

「どこでも」 Anywhere

教室以外でも英語に触れることができる環境づくり

- 全19名のALTを配置
 - ・1学校につき1名のALTを終日配置，大規模小学校及び全中学校に2名のALTを配置
- オンライン英語交流学習（小小連携、小中連携学習）
- English Dayや English Salon等の設定
- ALTが作成した動画の配信
- 学校と家庭の学びを一体化（一人一台タブレット：iPad）

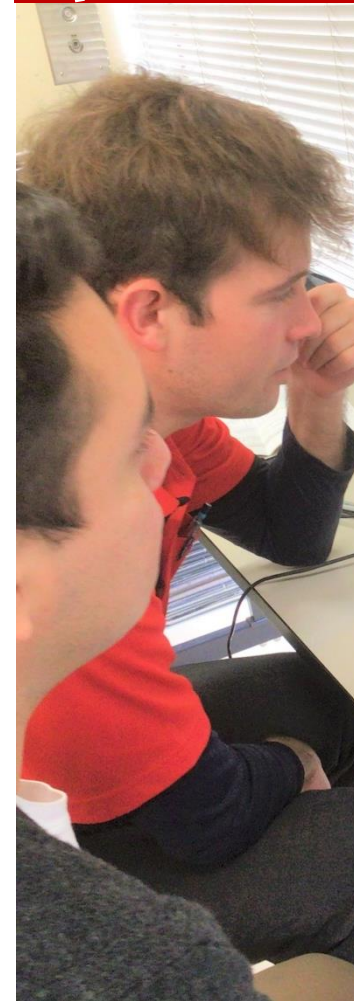
「だれとでも」 With Anyone

学校以外でも英語に親しむことができる機会の提供

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| ■ イングリッシュ・フォーラム | ■ イングリッシュ・キャンプ | ■ ALTとあそぼう・話そう |
| ■ 英語検定受験料補助事業 | ■ 海外姉妹都市交流 | ■ 英語絵本の読み聞かせ |

No.2

守谷市の英語教育・グローバル教育の基本的な考え方



外国語教育の背景

- 学習指導要領改訂：小学校中学年外国語活動，高学年外国語科の新設
- 第3期教育振興基本計画（2018～2022年）
 - ・中学校卒業段階での英検3級程度（CEFR A1）以上取得
 - または，相当の英語力を有する中学生の割合50%を目標
- 全国的な英語4技能の学力検査H30，いばらき教育プラン H28～R2年度
 - ・英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合60%を目標
- 大学入試改革：大学入学共通テストにおける民間の英語資格・検定試験の推奨実施

守谷市の取組と方向性

- 小学校1年生から英語の授業を実施（H23年度～）
- 中学校卒業段階の英検3級程度【CEFR A1】以上（R元年度）
 - ・取得した割合：**55.5%** ・相当の英語力を有する割合：**67.9%**
- 全国学習・学力状況調査，英語4技能能力検査（H30年度）全国トップレベル
- ALTの対面授業とオンライン授業の融合（R2～）

目標設定と検証

- 事業評価：教育課程特例校，ALT配置事業（保護者アンケート・児童生徒アンケート・教員アンケート）
- 英語力調査：英検取得状況調査・【県】英検IBA，【国】英語教育実施状況調査
- 指導計画の見直し：CAN-DOリスト，プロジェクト・アクティビティの精査

「いつでも」 Anytime

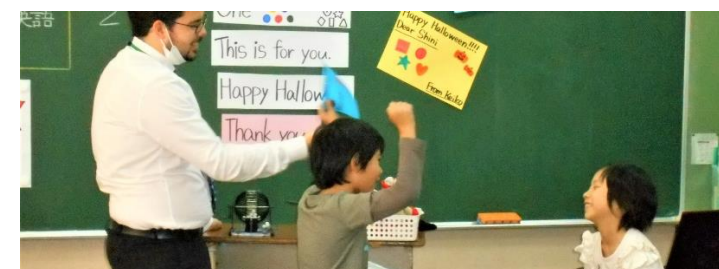
ハイブリッド（対面・オンライン）授業（R2年度～）

学校では，終日ともに生活しているALTと，家庭ではオンラインで英語ネイティブティーチャーとともに，英語を学習できるハイブリッド授業を導入し，一人一台のタブレットの特徴を生かして，もりやの英語教育の個別最適化学習を行います。



教育課程特例校（H23年度～）

小学1年生から週1回「英語活動」の時間を設定し，ALTによる英語に慣れ親しむ授業を実施しています。
また，守谷市年間指導計画にフォニックスやプロジェクトアクティビティ（自己表現活動）を位置付け英語教育を推進しています。



カリキュラム推進のための

ALTと行う教職員校内研修・推進委員会

小学校の全教職員を対象に指導力・英語力向上を目的とした校内研修をALTと実施（各小学校年1回）しています。
そして，守谷市年間指導計画に基づいた外国語の授業公開と協議を定期的に行い，小中連携による外国語の授業づくり・相互授業参観を行います。



小中学校9年間を見通した英語教育カリキュラム

【守谷市の外国語教育】

3つのコンセプト

- 1 英語があふれる授業
- 2 児童生徒が英語で自己表現している授業
- 3 英語が飛び交う学校